

医療機器の保険適用について（平成26年10月収載予定）

区分C1（新機能）

	販売名		企業名	保険償還価格	算定方式	補正加算等	外国平均価格との比
①	VEPTR IIシステム	縦連結用	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	185,000円	原価計算方式	なし	0.76
		横連結用		342,000円			0.74

医療機器に係る保険適用決定区分及び価格（案）

販売名 VEPTR IIシステム
 保険適用希望企業 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

販売名	決定区分	主な使用目的
VEPTR IIシステム (縦連結用、 横連結用)	C 1 (新機能)	本品は、骨格の未成熟な以下のいずれかの胸郭不全症候群患者における胸郭変形を、機械的に安定・矯正するために使用する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 重度の肋骨癒合 ・ 胸郭形成不良もしくは胸郭形成異常 ・ 高度な胸郭変形を伴う進行性側彎症

○ 保険償還価格

販売名	償還価格	類似機能区分	外国平均価格との比
縦連結用	185,000 円	原価計算方式	0.76
横連結用	342,000 円	原価計算方式	0.74

関連技術料

K142-2 脊椎側彎症手術 1 固定術 48,650 点
 2 矯正術 イ 初回挿入 112,260 点
 ロ 交換術 48,650 点
 ハ 伸展術 20,540 点

留意事項案

横連結用を用いる場合は、セット（肋骨間用、肋骨腰椎間用又は肋骨腸骨間用）は1回の手術につき1セットを限度として算定できる。なお、医学的根拠に基づき2セット以上を算定する場合は、診療報酬明細書の摘要欄にその医学的根拠を詳細に記載すること。

推定適用患者数

約 40 人/年

[参考]

○ 企業希望価格

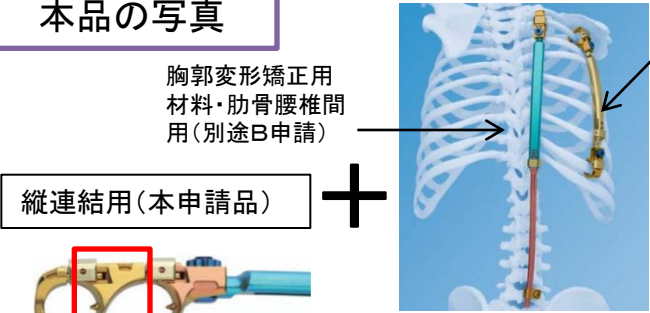

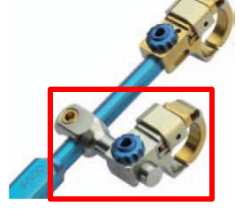
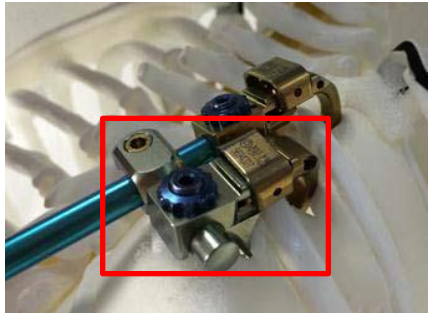
販売名	償還価格	類似機能区分	外国平均価格との比
縦連結用	363,000 円	原価計算方式	1.50
横連結用	696,000 円	原価計算方式	1.50

○ 諸外国におけるリストプライス

販売名	アメリカ合衆国	連合王国	ドイツ	フランス	オーストラリア	外国平均価格
縦連結用	331,300 円 (3,313 米ドル)	243,060 円 (1,548.15 英ポンド)	173,465 円 (1,304.25 ユーロ)	221,147 円 (1,662.76 ユーロ)	販売実績なし	242,243 円
横連結用	557,100 円 (5,571 米ドル)	466,032 円 (2,968.35 英ポンド)	412,114 円 (3,098.60 ユーロ)	422,009 円 (3,173.00 ユーロ)	販売実績なし	464,314 円

1 ドル = 100 円 1 ポンド = 157 円
 1 ユーロ = 133 円 1 オーストラリアドル = 94 円
 (平成 25 年 5 月～平成 26 年 4 月の日銀による為替レートの平均)

製品概要

1 販売名	VEPTR II システム
2 希望業者	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
3 使用目的	<p>本品は、骨格の未成熟な以下のいずれかの胸郭不全症候群患者における胸郭変形を、機械的に安定・矯正するために使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重度の肋骨癒合 ・胸郭形成不良もしくは胸郭形成異常 ・高度な胸郭変形を伴う進行性側彎症
4 構造・原理	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">本品の写真</p> <p style="text-align: center;">胸郭変形矯正用材料・肋骨腰椎間用(別途B申請)</p>  <p style="text-align: center;">縦連結用(本申請品) + 横連結用(本申請品)</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">胸郭変形矯正用材料・肋骨間用(別途B申請)</p>   </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">本品の主な有用性</p> <p>○縦連結用： 胸郭変形矯正用材料・肋骨腰椎間用等に追加的に使用し複数の肋骨を把持することで、患者の肋骨にかかる荷重を分散させ、肋骨骨折・脱転のリスクファクターを軽減させることができる。</p> <p>○横連結用： 胸郭変形矯正用材料・肋骨間用は脊椎にかなり近くなるため、外側の肋骨の間を開くために胸郭変形矯正用材料・肋骨間用を設置する必要があった。 肋骨間用の代わりに使用し外側に連結することで、肋骨間用の留置をせずに胸郭の空間を確保する肋骨間用のインプラントの留置が不要となる。</p> <p>(参考)留意事項 セットは1回の手術につき2セットを限度として算定できる。なお、医学的根拠に基づき3セット以上を算定する場合には、診療報酬明細書の摘要欄にその医学的根拠を詳細に記載すること。</p> </div>